

平和のためにできること

沖縄県立沖縄高等特別支援学校 二年 知名 敏希

戦争はこわいです。戦争は嫌いです。なぜなら、戦争は、大切な人の命を簡単に奪ってしまからです。たくさんさんの人の命を犠牲にしてまで、人はなぜ戦争をするのでしょうか。国と国との争い、それが戦争です。国は国民のためとか言って、戦争をしていますが、どこまで私たち国民のことを考えているのでしょうか。私たち国民の中で、どれだけの人が戦争することに賛成しているのでしょうか。私は数えるほどしかないと思います。そう考えると、国がどれだけ国のことを考えているのか疑問に思います。本当に国や国民のことを考えているのなら、みんなが嫌がる戦争なんてしないと思います。私たちは、私たちの平和を考えているように、本当は考えていないのかもしれませんが。一人一人が平和を考えているのなら、国と国が、あるいは同じ民族同士で争うわけがありません。地上戦が行われた沖縄戦では、約二十万人の人が犠牲になりました。世界のあらゆる戦争で犠牲になった人の数は、四千万以上になります。今も世界のどこかで戦争が起きているので、その数はもっともっと増えていることでしょう。

う。これ以上の犠牲者を出さないために、私たちのできることを考えてみました。

子どもが変われば大人が変わる、子どもが動けば世界が変わるという言葉を聞いたことがあります。命をかけて教育のために戦ったマララさんがそうです。彼女は、たった十四才でノーベル平和賞に輝きました。最期まで武力に負けなかった彼女はとてもすごいと思います。彼女みたいに大きなことはできませんが、私も平和について考えることと、行動を起こすことをやってみたいです。私が動くことで友達が動き、家族が動き、沖縄が動き、日本国民が動き、そうして世界が動く。平和を目指して動くことができると思います。世界から戦争を無くすことはむずかしいかもしれませんが。でも私たちが考えて行動することで戦争を減らすことはできると思います。世界中が平和になるためには、おそらく長い時間がかかるでしょう。それでも、そこに向かって努力をしていけば、きっと願いはかなうはずです。私はこれから平和を願う気持ちをどんどん言葉にしていこうと思います。争う前に話し合いをしてみよう。平和について真剣に考えよう。人の話や意見に耳を傾けよう。武器のない環境を作ろう。お金持ちになるのもいいけれど、やさしくて広い心を持つ人になろう。戦争には絶対にかかわりたくない。